



## インターネット上から文献複写申込が可能な2機関の紹介

寺澤 裕子

### I. はじめに

雑誌のオンラインジャーナル化が進み、個人でも無料、または有料でフルテキストのダウンロードが可能になりました。また文献検索ソフトに限らず、インターネットを介して世界中から必要な情報を探し出すことが容易にでき、加えて必要な情報が医学分野に限らず広範囲になってきたことなどから、入手困難な文献複写依頼が図書館に届き、頭を悩ませている担当者も少なくないと思います。

今回、インターネット上から複写依頼が可能な2機関のサービスを実際に登録し、利用したので報告します。

◇財団法人国際医学情報センターが行う文献複写サービス「IMIC Order (IMIC=International Medical Information Center)」

◇国立国会図書館蔵書検索・申込みシステム「NDL-OPAC」の文献複写サービス

IMIC Order は Webcat から所蔵確認が可能です。どちらも事前に利用者登録が必要で、特に国立国会図書館は登録に2週間程度かかります。

### II. IMIC Order

<http://www.imic.or.jp/> (図1)

医学分野の逐次刊行物(学術雑誌)だけでなく、各種学会研究会抄録・プログラム集、単行本などの資料があり、その数は提携図書館所蔵分を合わせて逐次刊行物 約9,000タイトル、各



図1.

種学会研究会抄録・プログラム集 約10,000冊、単行本 約100,000冊。さらに、国内外の図書館とも利用協力の関係にあり、迅速な手配による納品が可能です。

利用者登録：Web ページから可能。登録したメールアドレスに ID とパスワードが返信されてきます。登録料は無料。発行までの所要日数は、時間帯によりますが即日発行されます。

複写申込受付時間：24時間。当日受付は、前営業日17時～当営業日17時まで受け付けたもの。営業日は平日 9:00～17:00 (土、日、祝祭日、5/1、夏期一斉休暇、年末年始は除く) 文献入手までの所要日数：約5日間(郵送による発送申し込み時)。

参考価格：945円～(パーソナル登録設定時、1件30ページごとの料金)、郵便振替にて支払い。

#### 1. 登録する

登録には、パーソナルとコーポレートがあり、パーソナル登録の場合は1件につき30ページまで945円、送付方法は普通郵便か FAX (但し

FAX 送信は1部につき30ページまで)が選択できます。コーポレート登録の場合は1件につき手数料+1ページあたり80円がかかります。送付方法は普通郵便、FAXに加えて宅配便や速達郵便による発送なども可能です。

パーソナル登録は1件ごとに請求書が発行されますが、コーポレート登録では基本的にまとめた請求書となります。いずれも郵便振替で支払いができます。

2. 申し込む

Web ページへアクセスし、登録時に配布された ID とパスワードで認証後、サービスメニューから申し込みを行います(図2)。

まず、申込方法を選択します。通常の申込方法かテキスト貼付変換申込のいずれかを選びます。テキスト貼付変換申込とは、文献検索ソフトの検索結果を IMIC Order が指定する形式で保存したものを使って申し込み方法です。保存形式については、表1を参照してください。検索ソフトが混在する場合は IMIC 標準形式で行

うとよいと思います。

著作権についての記載を確認後「同意する」を選択し、手配先と納品方法は「内部発送・内部 FAX・内部当日 FAX・内部外部発送」のうち、いずれかを選択します。「内部」とは IMIC および提携図書館を指し、「内部外部発送」とは「内部」にない場合に国内外の機関へ手配を頼む方法で、謝絶によるタイムロスがなくなります。

通常の申込の場合は、次の画面で書誌事項を入力します。不明のところは空欄でも構わないそうです。なお、同時に100件まで申し込むことができます。

テキスト貼付変換申込の場合は、テキスト貼付エリアにあらかじめ準備しておいたデータを貼り付け、画面下の使用した検索ソフト名で「変換」ボタンをクリックします(図3)。1回につき100KB までのデータを変換することができます。

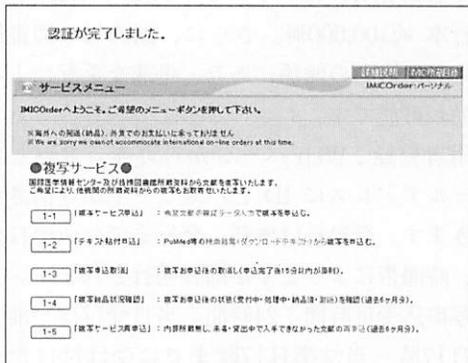


図2.



図3.

表1. IMIC Order 一括変換申込に使用する主な検索ソフト別保存方法

検索ソフト	保存形式
NLM-PubMed	Medline report 形式 (2003年12月以降にダウンロードしたもののみ)
医中誌 Web	タグ形式または改行区切り
JOIS Easy-JMED plus、JST Plus、JAPICDOC	標準+STN または標準プラス+STN 形式
JDream	タブ区切りで保存し、IMIC 標準形式に整える
IMIC 標準形式	CSV 形式 (ISSN、誌名、出版年、巻号、ページ、著者、論題、メモ1、メモ2)

「申込確認へ」の画面上で申込状況を確認・選択し、「申込」ボタンをクリックして完了の画面が出れば、受付番号を控えて画面を終了させていただきます。

著作権管理団体の提示する複写使用料の徴収を IMIC が代行し利用者に請求されます。商用目的で利用の際はさらに権利処理が必要です。その他サービスメニューから行えること：

- 申込取消：申し込み後15分以内であれば、取り消しができます。
- 申込状況の確認：発送・謝絶の状況などが確認できます。特に FAX による謝絶連絡は行っていないので、このページから確認する必要があります。

### 3. 取り寄せてみて…

申し込みの状況を Web ページで確認でき、割高ですが FAX による手配や国内外の機関への手配という選択肢も用意されています。ただ、近畿病院図書室協議会の書式による申し込みも従来通り受け付けていて、このサービスよりも料金が安価であることも申し添えます。

## Ⅲ. 国立国会図書館

<http://www.ndl.go.jp/> (図4)

国立国会図書館法により昭和23年(1948)に設立され、「図書及びその他の図書館資料を蒐集し、国会議員の職務の遂行に資するとともに、行政及び司法の各部門に対し、更に日本国民に

対し、この法律に規定する図書館奉仕を提供する」とその目的を定め、日本国内で刊行される出版物を納本制度によってより広く収集し、保存・整理している機関です。

利用者登録：郵送または持参。登録は無料、郵送で申し込む場合は1～2週間かかります。持参の場合、東京本館では受付が19時まで、その場で登録証が発行されますが、関西館は発行までに1～2時間かかりますので、即日発行を希望される場合は16時までに申し込みが必要です。

複写申込受付時間 (Web ページ稼動時間)：月から土曜日は7時～28時まで、日曜日は7時～25時まで (但し第3日曜日は22時まで)。

文献入手までの所要日数：2週間～1カ月間  
参考価格：1件600円程度 (白黒電子式複写 A4 1枚につき税込み25.2円) 郵便振替にて支払い。

### 1. 登録する

上記 Web ページへアクセスし「登録利用者制度のご案内」をクリック。「登録するには」の箇所までスクロールさせ、「郵送による申込み」の「図書館等機関として登録を希望する場合 (図5)」の申請用紙を印刷し、必要事項を書き込み、返信用封筒を添えて(切手貼付不要)、国立国会図書館に郵送します。その後1週間程度でIDとパスワードが届きました。

### 2. 申し込む

上記 Web ページより、「NDL-OPAC」をクリックし、「国立国会図書館蔵書検索・申込み



図4.

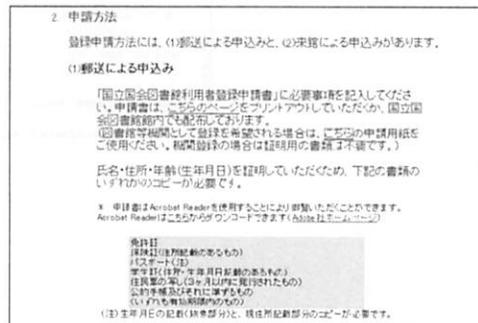


図5.

システム」の箇所に入力してログインします(図6)。1つのIDで最大30件まで申込が可能です。「雑誌記事索引の検索/申込み」画面で論題名、著者、誌名など書誌事項を入力し、「検索」ボタンを押します。条件に該当する文献がリストアップされますので、希望の文献を選択し、記事情報詳細を確認後、「所蔵詳細/申込み」をクリックしてください。書誌情報、所蔵場所が表示され、郵送複写のボタンがデフォルトで選択されますので、確認後「次へ」をクリックします。

「複写申込み上の注意」画面(図7)を読んだ後、複写物の利用目的「調査研究の用に供するため」を選択して「次へ」。必要事項入力の画面が出てきますので、それぞれ確認して、「申込み確定」ボタンをクリックし、申込み受理通知画面から申込みIDを控え、終了します。

複写物の利用目的が上記もしくは裁判所へ提出用以外の場合、書面による著作権者の許諾を得る必要があります。

### 3. 到着・発送状況、申込状況の確認

ログイン後、画面上部メニューから確認できます。

申込状況：申込の処理状況がサービスごとに表示されるので処理状況を知りたい時にはこちらから確認します。

到着・発送状況：申込の処理結果(到着・発送・謝絶・督促)についてのメッセージが表示されますので、この画面は随時確認をしてください。

### 4. 取り寄せてみて…

大体1カ月くらいと聞いていましたが、2週間程度で届きました。この所要日数の差は該当文献の所蔵場所にも関係するのではないかと思います。所蔵館はあらかじめ検索結果の画面で確認できます。また包装費が価格に含まれていましたが、複写物はビニールで包まれ、破損や汚れを防ぐ工夫のしてあったことが印象に残りました。

## IV. 最後に

いずれの方法も価格は通常より割高ですが、従来の作業【書誌を確認→所蔵館を確認→依頼書式に移し変え→印刷→FAX送信】とさらに申込状況の確認もWebページででき、画面操作も簡単です。ここに紹介した入手方法は、必ずしも「早い、安い」ものではありませんが、イザというときのための文献複写依頼先として選択肢に加えておいていただきたいと思います、紹介しました。

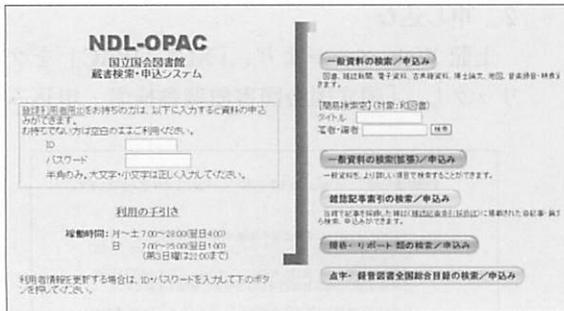


図 6.

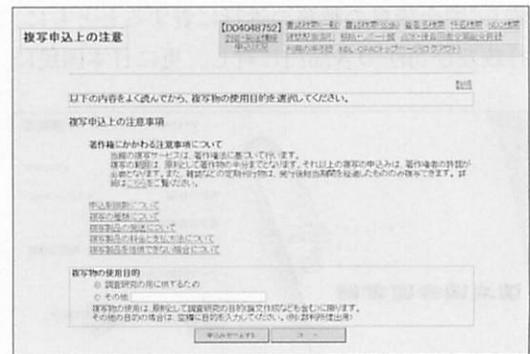


図 7.